

# 趣味の文具箱 vol. 18

文房具を愛し、人生を楽しむ本。

## 特集 ペン先・超拡大図鑑

注目の万年筆、ボールペン、新製品レポート  
旅する文具店スペシャル

3万円以下で始める往年のモンブラン  
楽しい! 美しい! インク新色ニュース  
カラダッシュ エクリドールのすべて



# ペンと暮らす

書いてよし、愛でてよし!



紙がずらりと並んだ棚。コンケラーやバンクペーパーなどの上質なノート用紙と表紙用紙、便せん用紙、約100種が揃う。

### 紙を選んでその場でオリジナルノートが作れる!



編集部・馬庭もオリジナルノートを作ってもらうことに。贅沢にも4種の中紙をセレクト。表紙はラメ入りの紺、裏表紙は茶色。リングは黒、シルバー、ホワイトからシルバーを選び、オプションでゴムバンド付きを選択した。



①好きなノート用紙を選ぶ。紙は1種類15～35枚ずつの束で販売されていて、1束80～400円。枚数の違いは、紙の厚みの違いによるもの。②表紙と裏表紙用の厚紙を選ぶ。マット紙、光沢紙などさまざま。

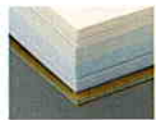
店の最大の特徴ともいえるのが、ノートのオーダーメイドサービス。好きな紙を選べ、リングノート製本機で、その場でオリジナルのリングノートを作ってもらえる。



その場で作ってもらえる醍醐味。ワクワク、ドキドキしながら完成を待つ。



工房スペースにあるGBC社のリング製本機で製本する。紙にリング穴をあけたあととリングをはめてプレスする。



紙の断面も美しい。書くのが楽しみ!

約10分ほどで完成! B6サイズ、4種の中紙、オプション付きで700円相当。価格はサイズ(B5/B6)、紙の種類と束数、オプションの有無によって異なる。オプションで、ゴムバンドのほか封かんも選択できる。



①木を基調とした店内。入って手前右に紙の棚、奥に万年筆の棚と、国内メーカーの文具が並ぶ。②美濃和紙による紙文具・雑貨で人気の高い古川紙工のカードやレター用品も豊富に揃う。



旅する文具店



## 「書く」を楽しむ下町の純文具店 カキモリ



①オリジナル付箋に並ぶ万年筆。書き味から入ってもらいたいとの思いから、黒を基本として並べ、色バリエーションは下の引き出しの中に入れている。②店オリジナルの下敷き。横書き用、縦書き用ともに、表面と裏面の罫線の行間が異なる2ウェイ仕様。各100円

かつては下町のイメージが強かった東京の東側エリアも、近年は、若手デザイナーによるショップやカフェ、ギャラリーなどが軒を連ねる注目スポットとなっている。

隅田川にほど近い台東区蔵前もそのひとつ。ヴィンテージ家具店などが並ぶ国際通りに、2010年11月、魅力的な文具店がオープンした。

名前は「カキモリ」。30歳の若き店主、広瀬琢磨さんは、文具販売業の大手であるアサヒ商会のグループ会社代表でもある。

書くにこだわる人「書き人(もろ)」のためのお店を作りたいと、紙と筆記具をメインとした新店を誕生させた。

お店の顔と言えるのが、オーダー制のオリジナルノート。壁一面に広がる紙棚から好きな用紙と表紙を選べ、リングノート製本機でその場でノートを作ってもらえることができる。「大きな窓の外から、機械でノートを作っている様子が見える。通りを歩いている人が気になって入ってくれればいいな、という『そば屋』方式です」。

筆記具エリアにも工夫を凝らす。扱う万年筆は3万円以下。スタッフで試し書きして厳選した書き味のいいモデルのみを揃え、ペン先に少しでも不具合のあるものはすべてメーカーに送り返した。気軽に触れて、書いてもらいたいという思いから、敷居の高いガラスケースではなく木の棚を特注。全モデル、インク入りのサンプルを用意し、筆記スペースも構える。

店の奥には、モノと作り手に惚れ込んだ国内ブランドのデザイン文具なども並ぶ。

紙好き、文具好きなら時間が経つのを忘れてしまう空間は、若きスタッフならではのセレクトと心配りによって作られている。



data:

カキモリ

東京都台東区蔵前4-20-12  
(東京都営地下鉄大江戸線・蔵前駅から徒歩約5分)  
TEL 03-3864-3898  
11:00～19:30 (月曜日定休)  
<http://www.kakimori.com/>



左から、スタッフの千葉祐子さん、店主の広瀬琢磨さん、スタッフの西山みほさん。



## 秋葉原に文具・雑貨も充実の新ランドマーク誕生 アトレ秋葉原1



創業1806年の日本橋の老舗・榛原の製品も並ぶ。写真左は「榛原謹製千代紙ノート」(1,680円)。



1

①店の半分以上を占める文具エリアには、ノートや手帳、ペンが並ぶ。奥にはモレスキンコーナーやネスプレッソの試飲スペースも。

②万年筆はトンボ、パーカー、ラミーなどの、カジュアルかつデザイン性の高いモデルを揃えている。



2

### 男性のための上質セレクトショップ デフレッシュ

文具、服飾雑貨を扱うメンズセレクトショップ。店名はフランス語で「開拓者、草分け」の意味。海外ブランドのアイテムから、ブラシの江戸屋、楊枝のさるや、など日本の老舗による名品も多数揃う。文具エリアには、日本橋・榛原の紙製品やライフのノートをはじめ、万年筆、手帳などが並ぶ。  
2階 / TEL 03-5289-3826

店長兼バイヤーの西川英孝さん。「セレクトには自信があります。嗜みによって、働く男性に活力と癒やしを与えたいですね」。

